

令和3年度

第2期

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書

令和4年12月

川越市

## 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び5か年の国の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しました。当初の計画期間は平成27年度から令和元年度までの5年間でしたが、総合戦略に位置付けた事業の成果を着実に導き出すため、計画期間を1年間延長し、令和2年度までとしました。

令和3年度からは、令和3年3月に策定した「第四次川越市総合計画後期基本計画」に総合戦略の考え方を継承し、地方創生の取組を包含する形で進めています。

## 総合戦略のPDCAサイクル

総合戦略に位置付けた事業の実施にあたっては、効果的に推進するため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していくこととしています。

また、各施策の進捗状況や具体的な取組内容等に対する評価については、議会における意見や、川越市まち・ひと・しごと創生本部における学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行うこととしています。

このため、令和4年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略(Plan)に基づく令和3年度の実施事業について、進捗状況や具体的な取組内容(Do)について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価(Check)を行いました。

## 令和3年度事業の総括

令和3年度においては、「旧川越織物市場の整備」及び「グリーンツーリズム拠点の整備」といったハード事業は、当初予定からは進捗が遅れがみられるものの、いずれも着実に推進しております。令和3年7月5日には、子育て安心施設「すくすくかわごえ」が供用開始しました。

ソフト事業は人々が対面で集う形式の事業が多く、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度には実施が困難であった事業が多々ありました。令和3年度においては、オンラインを活用するなど実施形態を工夫し、事業を推進しました。

また、企業版ふるさと納税制度を活用し、民間企業の皆様から本市の「グリーンツーリズム整備推進」事業に対してご寄附をいただくなど、官民連携により、総合戦略事業を推進してまいりました。

令和4年度以降につきましては、川越市まち・ひと・しごと創生本部会議等で頂いた、個別及び全般に係る外部有識者の皆様からのご意見も十分に踏まえつつ、着実かつ効果的な事業の推進を図ってまいります。

## 令和4年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

	開催日	出席者
第1回	令和4年7月 7日	本部構成員:出席者 12名
第2回	令和4年7月14日	本部構成員:出席者 12名 外部有識者:出席者 8名
		いるま野農業協同組合 川越地域理事代表 加藤 榮 壽
		川越商工会議所 専務理事 竹澤 穰 治
		埼玉縣信用金庫 西部エリア エリア長 川越支店 執行役員支店長 石崎 篤 史
		埼玉りそな銀行 川越支店 支店長 若林 圭
		尚美学園大学 芸術情報学部情報表現学科 准教授 藤橋 誠
		東京国際大学 副学長 商学部長 上野 博
		東洋大学理工学部 教授 吉田 善 一
		武蔵野銀行 川越支店 次長 栗原 嘉 弘

(選出母体五十音順、敬称略)

○第2期 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(令和3年度)

具体的施策

事業

具体的施策1

川越産業の活性化と  
若者の地元就業

- 若者に対する川越就業のための情報提供支援
- 市内企業への販路拡大支援
- 既存産業に対する環境整備
- 創業支援

具体的施策2

文化創造拠点の形成と創業支援  
(ものづくり長屋 川越)

- 旧川越織物市場の整備
- 旧川越織物市場の活用推進
- 立門前線(歴史的地区環境整備街路)の整備
- 創業支援(再掲)

具体的施策3

川越産農産物の魅力を広める  
ブランドづくり

- 川越産農産物のブランド化事業
- おいしい川越農産物提供店認定制度

具体的施策4

川越を訪れるきっかけづくり

- DMO川越の運営支援
- シティセールスの推進
- 広域観光の促進事業
- アフターコロナを見据えたインバウンド関連事業

具体的施策5

グリーンツーリズム拠点の整備  
(蔵 in ガルテン 川越)

- グリーンツーリズム整備推進

具体的施策6

安心して出産・子育てが  
できる環境をつくる  
(すくすくかわごえ)

- 子育て安心施設の整備
- 子育て安心施設の運営管理
- 子育て安心施設での事業展開(子育て支援センター)
- 子育て安心施設での事業展開(保育ステーション事業)
- 子育て安心施設での事業展開  
(地域包括支援センター・在宅医療拠点センター)
- 若者のライフデザインの支援
- 子育て体験学習の実施
- 出会いの仕掛けづくり
- 産前・産後を支えるための母子保健事業
- 多胎児産前産後ヘルパー派遣事業

具体的施策7

地域の価値を高め、  
魅力あるまちをつくる

- 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

## 具体的施策1

# 川越産業の活性化と若者の地元就業

### 【令和3年度 特定財源】

- 既存産業に対する環境整備
- ・預託金収入

### 【関連するSDGsゴール】



## 主な実施事業

### 1 若者に対する川越就業のための情報提供支援

#### (1) 企業情報、ビジネス支援サイト「川越きりり企業NAVI」の周知

地元企業の情報が掲載されている「川越きりり企業NAVI」について、埼玉県立川越初雁高等学校の2学年生進路ガイダンスにおいて周知し、地元就労に関する情報提供を実施した。

#### (2) 「川越きりり企業NAVI」の更新

アクセスするとまず特集記事の紹介から始まり、何件の企業が掲載されているのか一目で分かり辛い状態であったため、トップページにバナーを設け、企業一覧にたどり着きやすく更新したほか、令和3年度KOEDO E-PRO大賞を受賞した企業に取材を行い、記事を掲載した。(掲載企業81社)



川越市内の企業の職場情報を知りたい方

川越市内の企業の製品技術情報を知りたい方

トップページにバナーを追加

### 2 市内企業への販路拡大支援

#### (1) 「川越ものづくりブランドKOEDO E-PRO」認定事業の実施

令和3年度認定企業として2社を認定し、市内外へPRした。また、8件の既存認定企業のPR事業に対し、補助を実施した。

(写真・左 ヒーハイスト株式会社)  
「クサビ式減速機構を搭載した超精密1軸ステージ及び超精密XYθステージ」

(写真・右 株式会社の場合電機製作所)  
「自在に曲がるバイブレーションマッサージャー『フリーー』」



## 事業の課題

### 「川越きりり企業NAVI」

アクセス数は拡大傾向にあるものの、周知を強化していく必要があるほか、より一層の掲載企業拡大が望まれる。

### 「KOEDO E-PRO」

年々申請件数が減少傾向にあり、ブランドの認知力を向上させるため、制度の周知を図る必要がある。

## 具体的施策2

# 文化創造拠点の形成と創業支援(ものづくり長屋 かわごえ)

### 【令和3年度 特定財源】

- 旧川越織物市場の整備
- ・社会資本整備総合交付金
- ・地方債

### 【関連するSDGsゴール】



## 主な実施事業

### 1 旧川越織物市場の整備

#### (1) 旧川越織物市場東棟・西棟ほか整備工事の実施

令和2年度に契約締結した旧川越織物市場東棟・西棟ほか整備工事について、現場や工事担当課等の関係部署と綿密な協議を行いながら着実に工事を進めた。(令和4年3月末時点の整備進捗率:約60%)



令和3年3月時点



令和4年3月時点

### 2 旧川越織物市場の活用推進

#### (1) 広報戦略等アドバイザー業務委託の実施

旧川越織物市場を文化創造インキュベーション施設として活用するため、施設の広報方策を検討するとともに、全体開設に向けた試行的活用に関する検討を行った。

## 事業の課題

### 「旧川越織物市場の整備」

工事を2期に分けて進める計画としていることから、第2期工事分も含めて着実に進めていく必要がある。また、復原後はインキュベーション施設として活用することから、文化財としての保存と活用の両立を図る必要がある。

### 「旧川越織物市場の活用推進」

若手のクリエイターに対し創業支援を実施し、地域に根付かせていくためには、入居者を支援する事業者の存在が重要となってくることから、本事業に適した事業者に情報が伝わるよう広報発信を行う必要がある。

### 具体的施策3

## 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

【令和3年度 特定財源】

・なし

【関連するSDGsゴール】



### 主な実施事業

## 1 川越産農産物のブランド化事業

### (1) 直売イベントの協力

おいしい川越シールラリー抽選会(令和4年1月30日、ウエスタ川越にて実施)や、西武本川越ペペファーマーズマーケット(令和3年10月16日、西武本川越ペペにて実施)に協力することで、川越産農産物の消費拡大を図った。



### (2) 伝統野菜の再興

川越いもの伝承・保存のため、川越いも茶のPRや、川越サツマイモ商品振興会が開催する各種イベントに協力した。また、西町大根や紅赤など、かつて川越地方で栽培された伝統野菜の収穫体験等PRを行った。

## 2 おいしい川越農産物提供店認定制度

### (1) おいしい川越農産物提供店の認定・PR

認定制度の周知を図り、令和3年度は新たに7件の認定を行った。

新たにPRパンフレット・パネルを作成、観光案内所等に配架・設置し、認定店舗の周知を図った。



#### 8 まかない処大正蔵「八州亭」

「まかない処」のある大正蔵の建設は大正初期、中は仕切りのない広い空間で典型的な酒蔵の姿を今に残しています。レストラン「八州亭」では、小江戸が誇る地産地消の食をふんだんにご用意。川越産さつまいもを使った紅芋御膳や武蔵野うどん、また嶺山酒造の希少な日本酒の肴には、川越三元豚肉煮や川越ざる豆腐など、ゆったりとした蔵の空間の中でご堪能ください。



住所 新富町1-10-1  
営業時間 平日11:00-15:00 17:00-22:00  
土日祝11:00-22:00  
TEL 049-228-1785

●川越紅芋御膳  
(川越産さつまいもを使用)

●川越いものスイートポテト  
(川越産さつまいもを使用)



### 事業の課題

#### 「川越産農産物のブランド化事業」

一般消費者だけでなく、飲食店等に川越産農産物を活用していただくために、更なるPRや、新たな流通経路の構築が必要である。

#### 「おいしい川越農産物提供店認定制度」

令和3年度末における認定店舗は14店舗であり、認定制度の更なる周知が必要。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等の実施が先延ばしとなっている。

#### 具体的施策4

## 川越を訪れるきっかけづくり

【令和3年度 特定財源】

・なし

【関連するSDGsゴール】



### 主な実施事業

#### 1 DMO川越の運営支援

##### (1) 「観光地域づくり登録法人」としての登録

観光庁に対して、観光地域づくり登録法人への申請を令和4年1月に行い、令和4年3月28日付で登録観光地域づくり法人に登録された。

##### (2) 観光戦略の策定

登録観光地域づくり法人の登録要件の一つである観光戦略を令和3年8月に策定した。



##### (3) マーケティング調査の実施

Agoop社の人流データ(ビッグデータ)による新たな統計手法を導入し、観光客数等の基礎資料として活用した。また、これまで対面式で実施していたアンケート調査をWEB型に切り替え、ICTを活用した観光動態調査を実施した。

#### 2 アフターコロナを見据えたインバウンド関連事業

##### (1) 海外旅行会社へ向けた「観光セミナー」への参加及びプロモーション

Zoomを活用して、台湾及びタイの旅行業者が対象となる「埼玉県紹介セミナー」において、埼玉県観光課と協働して川越の観光プレゼンを行った。

### 事業の課題

#### 「DMO川越の運営支援」

収益事業の構築に向けて調査研究を進め、できる限り早期に構築するとともに、より多様な事業を展開するために事務局体制の強化を図る。

## 具体的施策5

# グリーンツーリズム拠点の整備(蔵 in ガルテン川越)

### 【令和3年度 特定財源】

- グリーンツーリズム拠点の整備
- ・農山漁村振興交付金
- ・地方債
- ・企業版ふるさと納税

### 【関連するSDGsゴール】



## 主な実施事業

### 1 グリーンツーリズム整備推進

#### (1) グリーンツーリズム拠点(農業ふれあいセンター)改修整備工事

グリーンツーリズムの拠点施設として「農業ふれあいセンター」の改修整備工事、電気設備工事、給排水その他設備工事、公共下水道接続管敷設工事等を実施した。



川越市グリーンツーリズム拠点施設



大屋根広場(バーベキュー場)

#### (2) 農業体験等、ソフト事業の充実

33講座開催し、延べ4,422人の参加があった。



田植え体験



稲刈り体験



さつまいも収穫体験

## 事業の課題

### 「グリーンツーリズム整備推進」

グリーンツーリズム拠点施設について、令和4年度のリニューアルオープンを契機として、「農のある生活」を楽しむ場、農業関係者に対する研修等の場、グリーンツーリズムの推進による地域の活性化を図る場として、さまざまなソフト事業を充実していくとともに、蔵inガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会及び関係団体との連携を図り、効果的なPRを行っていく必要がある。また、キャンプスペースの整備を計画的に進めていく必要がある。



## 具体的施策6

# 安心して出産・子育てができる環境をつくる(すくすく かわごえ)

### 【令和3年度 特定財源】

- 子育て安心施設の整備
- ・都市構造再編集中支援事業費補助金
- 子育て安心施設での事業展開
- ・保育対策総合支援事業費補助金 等

### 【関連するSDGsゴール】



## 主な実施事業

### 1 子育て安心施設の整備

#### (1) 子育て安心施設「すくすく かわごえ」の整備・開設

サインその他工事、外構工事を実施し、施設が完成した。令和3年7月5日より、供用を開始した。



広報川越6月号  
(令和3年6月1日発行)

### 2 子育て安心施設での事業展開

子育て安心施設において、保育ステーション、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター、地域包括支援センター、在宅医療拠点センター(高齢者在宅療養相談窓口)が開設された。



保育ステーション



子育て支援センター  
子育て世代包括支援センター



多目的室での事業

絵本の読み聞かせなど、  
様々なイベントを  
開催しています。

## 事業の課題

### 「保育ステーション事業」

新型コロナウイルス感染症対策、保護者と在籍している保育所等とのコミュニケーションが不足することが、課題となっている。

## 具体的施策7

# 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

【令和3年度 特定財源】

・なし

【関連するSDGsゴール】



## 主な実施事業

### 1 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

#### (1) 「歴史的建造物利活用事業者育成プログラムin川越市」の実施

国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」において、4件の歴史的建造物を事例として、株式会社エンジョイワークス(鎌倉市)、埼玉縣信用金庫と連携し、歴史的建造物を活用する事業者を育成する取り組みを実施した。



#### (2) 「テレワーク・副業×地域ミッション」の実施

埼玉県と連携し、4事業者に市内の歴史的建造物でのテレワークを体験し、歴史的建造物の活用案を提案してもらった。また、その様子をSNS等で発信した。



## 事業の課題

### 「歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築」

過年度の取組により、所有者、事業者、金融機関等がマネジメントサイクルの取組を評価している状況が明らかになった。一方、官民の連携が必要とされる比較的新しいスキームであることから、所有者との信頼関係の構築、市民、関係主体の適切な理解、担い手の育成が不可欠である。

今後は、歴史的建造物の滅失を防ぎ、適切に再生・利活用するために、作成したカルテを活用し、実証実験や活用案の提案を行うことで、所有者の立場に沿ったより具体的なマッチングの支援を行う必要がある。



## 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策目標

令和7年時点で	実績値	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
◆総人口350,000人以上を維持		353,301	353,260	353,235				
◆年少人口43,000人台、		43,700	43,228	42,496				
生産年齢人口213,000人台を維持		215,555	215,066	215,262				

(単位:人。川越市住民基本台帳より。各年1月1日時点)

## 基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値		12,797	12,849	12,902	12,955	13,008
市内総生産額(億円/年)※	実績値	12,610 (H30)	12,610 (H30)			

※実績値については、各年度の評価を行った時点で把握できた数値を記載しています。

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ものづくりブランド認定の累計数(件/年)	目標値	50	55	60	65	70
	実績値	43	45			
農業産出額(千万円/年)	目標値	-	-	-	-	1,500
	実績値	1,045 (R1)	702 (R2)			

### 具体的施策1 川越産業の活性化と若者の地元就業

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 若者に対する川越就業のための情報提供支援(雇用支援課)	あり	改善し推進
2. 若者に対する川越就業のための情報提供支援(産業振興課)	あり	現状通り推進
3. 市内企業への販路拡大支援	あり	現状通り推進
4. 既存産業に対する環境整備	なし	現状通り推進
5. 創業支援	なし	現状通り推進

#### 【主な意見】

- ・若者への情報提供支援は、従来は大学生をターゲットとしていたが、高校生に重点をおくべきではないか。
- ・創業支援は若者や非飲食系の創業相談が多くあるなど機運が高まっているので、手厚く実施する必要があるのではないかな。
- ・若者が起業しやすい環境づくりが求められている。起業しやすいまちとして、起業のサポート体制があると、まちのPRになるのではないかな。

### 具体的施策2 文化創造拠点の形成と創業支援(ものづくり長屋 川越)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 旧川越織物市場の整備	あり	現状通り推進
2. 旧川越織物市場の活用推進	あり	現状通り推進
3. 立門前線(歴史的地区環境整備街路)の整備	あり	現状通り推進
4. 創業支援(1-1-5の再掲)	なし	現状通り推進

#### 【主な意見】

- ・旧川越織物市場での創業支援は、個別にきめ細やかな対応が必要になってくるのではないかな。
- ・活動する中で、旧川越織物市場を使用したい学生はいると思う。
- ・利用料を低めに設定することは有効な創業支援策になるが、一方で、維持管理費の回収や創業後の事業継続性を考慮すると双方のバランスが大事だと考える。
- ・インキュベーション施設としてふらっと立ち寄れるなど、敷居を低くする必要があるのではないかな。

### 具体的施策3 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 川越産農産物のブランド化事業	あり	改善し推進
2. おいしい川越農産物提供店認定制度	あり	改善し推進

## 基本目標2 他地域とのつながりを築き、川越への新しいひとの流れをつくる

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
観光客数(万人/年)	目標値	726	732	738	744	750
	実績値	385	392			

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
観光時間半日以上観光客の割合(%)	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0
	実績値	69.5	22.6			

### 具体的施策4 川越を訪れるきっかけづくり

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. DMO川越の運営支援	あり	改善し推進
2. シティセールスの推進	あり	現状通り推進
3. 広域観光の促進事業	あり	改善し推進
4. アフターコロナを見据えたインバウンドの推進事業	あり	改善し推進

#### 【主な意見】

- ・円安傾向で海外からの旅行者が訪日しやすくなっている。コロナ後を見据えて準備やプロモーションをすすめていくことはいいことだ。
- ・シティセールスは、市役所の職員ひとりひとりが広報担当になったつもりで、いろいろな説明をしていただきたい。
- ・DMO川越は、国の補助金を活用できる体制になった。順調にすすめていただきたい。

### 具体的施策5 グリーンツーリズム拠点の整備(蔵inガルテン川越)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. グリーンツーリズム整備推進(蔵inガルテン川越)	あり	改善し推進
2. 川越産農産物のブランド化事業(1-3-1の再掲)	あり	改善し推進
3. おいしい川越農産物提供店認定制度(1-3-2の再掲)	あり	改善し推進

### 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		目標値		985以上	985以上	985以上	985以上
子育て世帯の転入数(世帯/年)	実績値	922	921				

重要業績評価指標(KPI)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		目標値		310	320	330	340
ファミリー・サポート・センター依頼会員実利用者数(人/年)	実績値	181	188				
	目標値		0	0	0	0	0
保育園待機児童数(人)	実績値	2	7				

### 具体的施策6 安心して出産・子育てができる環境をつくる(すくすくかわごえ)

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 子育て安心施設の整備	なし	事業・期間の終了
2. 子育て安心施設の運営管理	あり	事業・期間の終了
3. 子育て安心施設での事業展開(子育て支援センター)	なし	事業・期間の終了
4. 子育て安心施設での事業展開(保育ステーション機能) (R4より、事業名変更「川越市保育ステーション事業」)	あり	改善し推進
5. 子育て安心施設での事業展開 (地域包括支援センター・在宅医療拠点センター)	なし	事業・期間の終了
6. 若者のライフデザインの支援	あり	改善し推進
7. 子育て体験学習の実施	あり	現状通り推進
8. 出合いの仕掛けづくり	あり	改善し推進
9. 産前・産後を支えるための母子保健事業	あり	現状通り推進
10. 多胎児産前産後ヘルパー派遣事業	あり	現状通り推進

## 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる地域をつくる

数値目標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
歴史的町並み景観を形成している地域の歩行者・自転車通行量(人/年)	目標値	85,800	94,600	103,400	112,200	121,000
	実績値	68,273	71,659			
健康寿命(年)	目標値	男 17.75 女 20.39	男 17.82 女 20.50	男 17.89 女 20.61	男 17.96 女 20.72	男 18.06 女 20.81
	実績値	男 17.67 女 20.32 (R1)	男 17.85 女 20.48 (R2)			
市域における温室効果ガス排出量(千t-CO2/年)	目標値	1,955	1,921	1,887	1,853	1,819
	実績値	1,880 (H30)	1,880 (H30)			

重要業績評価指標(KPI)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
歴みち事業の整備率(%)	目標値	50.1	51.1	52.1	53.2	54.3
	実績値	49.1	55.0			
三大生活習慣病死亡数の比率(%)	目標値	53.5	53.3	53.2	53.1	53.0
	実績値	53.8	53.6			
環境指標の目標値達成状況(%)	目標値	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
	実績値	32.0 (R1)	34.0 (R2)			

## 具体的施策7 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

事業名	事業の課題	今後の方向性
1. 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築	あり	現状通り推進

### 【主な意見】

・建物所有者が建物の価値に気づいていない場合も多いため、建物の価値を認めてもらい、活用する方向にマッチングする取組みは、素晴らしい。

### 【その他、全体を通した意見】

- ・事業がSDGsゴールに紐づいているかを示すことは良いことだと考える。
- ・各事業の今後の方向性について、「抜本的な改善が必要」としている事業数が減少しており、よい傾向ではないか。

### 【参考:令和4年度以降の総合戦略事業についての意見】

- ・食環境づくり推進事業、脱炭素化推進事業は、ともに目標達成に向けた「ロードマップづくり」が大切だと考える。



川越市シンボルマーク